

Cosmo Flower 2008

花伝説～なつかしい日本のこころ～

March, 2008

有人宇宙システム株式会社
株式会社リバネス
株式会社ラグランジェ
高知県宇宙利用推進研究会

グローバル化する現代社会の中で、
わたしたちは
日本らしさを忘れかけてはいない
でしょうか？

時を経てなお変わらず、この星の
上で咲き続ける花の姿に重ねて、
なつかしい日本の心を探し求めて
いきます。

生命の源が封じ込められた花の種、
それはビッグバン前夜の宇宙にも
似ています。

地球を三千周した種が再び花開く
とき、新たな伝説が生まれるかも
しれません。



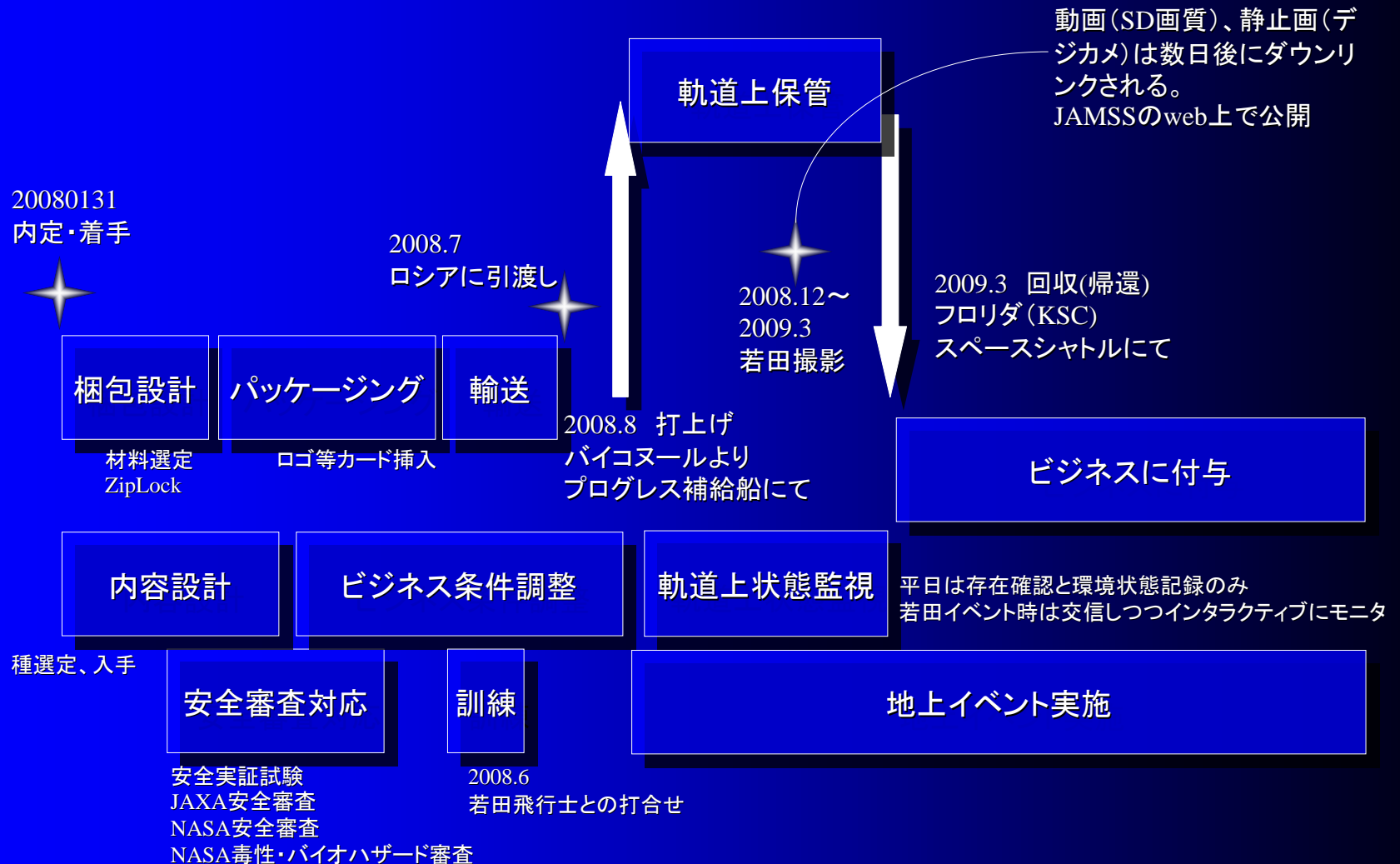
主旨

- さまざまな日本の花の種を宇宙フライトさせることにより、文化的イベントを創出する
 - 花に根付いた日本のところを再発見する
 - 環境、セキュリティなどもろもろの義務が規格化されて課される時代において、とかく軽視されがちな（美を愛でるような）、人の“ところ”を再確認する
 - 日本らしさとは？ 美しさとは？ などを皆で考える機会を創出したい
 - こどもたちの成長に必要な、右脳教育の機会を創出し、彼らの想像力をもって、31世紀まで残るような新たな伝説を作りたい
 - 宇宙と市民の交流を深める
 - 敷居が高いと思われがちな、宇宙開発の世界をぐっと身近にする
 - これからの宇宙活動に必要な、民間（技術、資本そして市民文化）の参画のきっかけを作る

プロジェクト概要

- 植物の種を8ヶ月間フライトさせて回収
 - 複数エンドユーザ様の混載
 - ビジネスと文化イベント用は厳密に分離
 - シロイヌナズナ、ミヤコグサ、桜は文化用
 - 他は一部販売用
 - 打上:2008.8.12 カザフスタン共和国・バイコヌール市
 - フライト名称 30P プログレス補給船/ロシア宇宙庁
 - 軌道上では常温保管
 - ソフトバッグ(CTB)に收容され、補給部与圧区(ELM-PS)に収納
 - 室温(温度はELM-PSの温度データを常時モニタ可能)、バッグ内なので遮光条件
 - 回収:2009.3 米国・フロリダ
 - フライト名称 2J/A スペースシャトル/NASA
- 帰還後、様々な文化イベントを創出
 - 農業環境技術研究所にて生態学的安全性検定実施
 - 食品系の種は今回は搭載しない

ライフサイクル



全体スケジュール

- 2008.2.4 パッケージ(素材)安全実証試験開始
- 2008.2.15 パッケージ内容詳細化(種選定)→NASAへBiohazard申請
- 2008.2.29 JAXA安全審査
- 2008.3.12 JAXAがプレス発表
- 2008.3.E イベント等地上ビジネス活動内容確定
- 2008.4 クライアント本契約、JAMSSが発表
- 2008.4.14 NASA安全審査
- 2008.4.16 宇宙飛行士訓練リハーサル
- 2008.5.M 打上荷姿の宇宙飛行士による確認(Bench review・ヒューストン)
- 2008.6 宇宙飛行士との打合せ(若田光一宇宙飛行士)
- 2008.7 ロケット側への引渡し(モスクワ)
- 2008.8.12 打上げ(プログレス)
- 2008.12-2009.3 若田光一飛行士によるビデオメッセージ撮影
- 2009.3 スペースシャトルでの帰還(米国・フロリダ)